

韓 国

漢陽大学校  
留学に関する報告

高知大学  
人文学部  
国際社会コミュニケーション学科

滞在期間 2011年9月～2012年2月

○滞在期間

2011年9月～2012年2月

○滞在場所

漢陽大学校（韓国）

○感想

最初のクラス分けテストも語学堂の授業も始まっていない時は、同室の子が外大出身で韓国人の友達が居るのでよく一緒に買い物に行ったりして遊んでいました。そこで単語を教えて貰ったり若者言葉を教えて貰ったりしていました。

寮で暇な時間はドラマなどを見て会話文を学んでいます。韓国の音楽も聞くようにしています。

最初のころ個人としては少しずつですが、韓国語でスケジュールや日記を書いていました。分からない単語は紙の辞書を引き、しるしをつけるようにしています。

9月14日にレベル分けテストがあり、内容は会話と筆記でした。筆記の内容は文中の接続詞を入れる穴埋め問題から作文がありました。韓国語能力検定試験の内容と似ていたように思います。会話は名前やどこから来たのか、なぜ韓国へ来たのか、韓国と日本の教育の違いや今までで1番思い出に残っている事などでした。会話の内容は皆一緒ではなく人それぞれ違っていたようです。

9月19日から授業で私はB-1Bでした。9時から12時までの授業です。1～3限は筆記で4限は会話の授業を行っています。毎日予習復習や宿題が出るので大変ですが、どんどん喋れるようになり、言葉が理解できるようになるのはとても楽しかったです。

中間テストがあるのですが、読み・書き・会話のテストが2日間に分けて行われました。テストは教科書や宿題から出たのでそれほど難しいものではなかったです。

中間テスト終わってすぐに文化発表会がありました。B級のクラスが何クラスかあるのですが、その全ての集まり「韓国の生活」について発表しました。私たちのクラスは「韓国の山」についてと「酒の文化」について発表をした人、そして歌を歌った人がいました。他のクラスからはダンスを踊る人もいて、日本の文化発表会とは違いわいわいしており、雰囲気がお祭りのような感じでした。

期末テストでは、中間テストと同じように2日間行われます。最後のテストなので良い点数を取りたい、そして前回より少し難しい内容なので早めからカフェや自主室、寮の部屋などで友達と勉強するようにしていました。同じ部屋の友達は私と違いレベル4のクラスなので分からないことは彼女に聞いて教えてもらっています。ちなみにレベル6が最高レベルです。

しばらくして漢陽大学の韓国人の友達も出来たので、その人とも時々会ってソウルタワーやちょうちん祭り、セジョン大王の像などに連れて行って貰い、解説して貰っています。日本語が上手なので分からない所は日本語で解説してくれ助かりました。彼とは日韓問題や将来についても話し合うことができ、とても有意義な時間でした。

韓国留学をしてみて感じたことは、日本がどれだけ恵まれているか、そして自分がどれだけ恵まれているかということでした。日本では当たり前だと思っていた道にゴミが落ちていない、トイレが当たり前ピカピカでとても綺麗であるなどの清潔さが他の国では当たり前でないことに驚きました。市場へ行っても魚が冷蔵庫や氷の上に置いてあるわけでもなく平気で置いてあること、犬の肉を食べること、こんなに近くても国が違えばここまで人の感覚は違ってくるのだなと感じました。